

☆くしろ市議会だより

News from
Kushiro City
Assembly

2020年
2月
No.64

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)
TEL 31-4581 FAX 23-7679
メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp
URL ホームページ
https://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html
フェイスブックページ
https://www.facebook.com/kushiroshigikai

次回の2月定例会は、
2月28日(金)午前10時 から開会の予定です。

ぜひ、傍聴に
お越しください!

(文責・議会広報特別委員長 河合初恵)

13日の本会議採決では、元年度一般会計および特別会計補正予算など23件の議案のほか、「あおり運転に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書」、「厚生労働省が再編統合するとした公立・公的病院名の公表を撤回するよう求める意見書」など4件の意見書を原案どおり可決しました(4面参照)。

● **12月定例会の概要**

12月4日(水)に始まった釧路市議会第6回12月定例会は、12月13日(金)に10日間の会期を終え閉会しました。開会日の冒頭、市長より「バス路線網の再編」、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定」、「第2期釧路市子ども・子育て支援事業計画の策定」、「共生社会ホストタウンの登録」などについて市政報告がありました。

本会議の質疑・一般質問では、16人の議員が登壇し、ICT化の推進、観光施策、環境問題、石炭列車(臨港線)の廃線後などに関する質問があり、多岐にわたり議論が交わされました。また各委員会においては、補正予算のほかそれぞれの所管事項についての審査を行いました(2・3面参照)。

議会日程

- 10/11 議会広報特別委員会
- 11/28 議会運営委員会
- 11/29 石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会
- 12/2 都心部市街地整備特別委員会
- 12月定例会(会期10日間)
- 12/4 本会議
市政報告
提案説明
質疑・一般質問
- 12/5、6 本会議
質疑・一般質問
- 12/9~12 常任委員会審査
- 12/12 議会広報特別委員会
- 12/13 委員会採決
本会議
委員長報告
討論
採決



● **議会報告会を開催しました**

10月29日(火)から11月1日(金)までの4日間、市内4会場で議会報告会を開催し、69名の市民の皆さまにご参加いただきました。報告会では、9月定例会での質疑・一般質問や、各委員会での審査内容を紹介した後、参加された皆さまと、北大通の活性化、人口減少対策などについて、意見交換を行いました。なお、意見交換の内容や開催概要等をまとめた報告書を、2月上旬ごろに市議会ホームページで公開予定です。ぜひ、ご覧ください。

3常任委員会が行政視察を実施 ～先進事例などを調査～

総務文教・経済建設・民生福祉の各常任委員会所属議員は、所管する事務に関する審査等の参考とするため、各地の先進的な取り組みなどを調査しました。

民生福祉常任委員会

● 令和元年11月11日(月)～14日(木)
● 大阪府豊中市、三重県鳥羽市、静岡県藤枝市を訪問

大阪府豊中市では、生活困窮者支援について、三重県鳥羽市では、福祉と観光が連携して、市民の就労を促進する「とばびと活躍プロジェクト」について、静岡県藤枝市では、地域・産業の賑わいづくりの視点も含めた先進的な市民参加型の健康づくり運動を展開し「健康・予防日本一のまち藤枝」づくりに向けた「ふじえだプロジェクト」について、それぞれ調査しました。

【参加議員】伊東尚悟 大越拓也 金安潤子 松原慶子 西村雅人 秋田慎一 板谷昌慶 宮田 団(松永征明議長は公務のため不参加)



経済建設常任委員会

● 令和元年11月5日(火)～8日(金)
● 山口県下関市、福岡県福岡市、同みやま市を訪問

山口県下関市では、みなどを核としたまちづくりについて、福岡県福岡市では、下水処理によって発生した消化ガスを原料として水素を製造し、燃料電池自動車に供給する下水バイオガス水素ステーションについて、みやま市では、自治体主導の地域新電力では日本で初めて家庭向けの電力小売サービスを提供し、エネルギーの地産地消により地域の活性化を図る取り組みについて、それぞれ調査しました。

【参加議員】大澤恵介 山口光信 三木 均 粟屋 剛 河合初恵 細中優周 岡田 遼 酒巻勝美(梅津則行議員は都合により不参加)

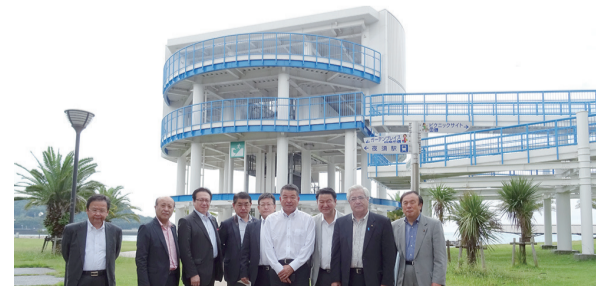


総務文教常任委員会

● 令和元年10月1日(火)～4日(金)
● 高知県香南市、愛媛県西条市、同松山市を訪問

高知県香南市では、津波避難のための高台が周辺にない住民のために市が建設した津波避難タワーの現地視察を、愛媛県西条市では、市と地元宿泊業の方が連携して取り組んできたスポーツ合宿誘致について、松山市では、道後温泉の保存修理の事業費の一部にクラウドファンディングを活用している事業について、それぞれ調査しました。

【参加議員】松尾和仁 高橋一彦 続木敏博 草島守之 松橋高文 月田光明 村上和繁 工藤正志 佐藤勝秋(森豊議員は都合により不参加)



会派略称説明

自政ク 自民市政クラブ
共産党 日本共産党議員団

市民連合 市民連合議員団
新風 釧路に新しい風

公明党 公明党議員団
新創ク 新創クラブ

市議会ホームページ
で発言通告一覧をご
覧いただけます。



今定例会では、16人の議員が登壇しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

12月4日(水)

公明党
松原 慶子 議員

「火災被害者にリサイクル事業の活用を」

問 昭和地区の市営住宅で火災が発生したが、火災に備えた住棟内の設備や避難訓練の実施状況はどうなっているのか。また、被災した方に市のリサイクルの仕組みを活用できないか。

答 市営住宅では、消防法で定められた消火器、警報設備などを設置している。訓練についても消防法に基づき、団地ごとに初期消火の消火訓練や避難、通報訓練などを行っている。リサイクル家財の提供は有効であると考えているが、課題もあることから、関係部署と協議していきたい。

自政党
伊東 尚悟 議員

「行政サービスにキャッシュレス決済の導入を」

市民連合
板谷 昌慶 議員

「市役所周辺施設の椅子設置状況は」

問 民間事業者にキャッシュレス決済の導入を進めるためには、消費者側への普及も重要である。利用者の不安を解消するためにも、行政が積極的に進める姿勢を示すべきと考えることから、今後、さまざまな行政サービスに導入してはどうか。

答 キャッシュレス環境の重要性は、将来的に高まっていくと考えており、令和2年3月から戸籍住民課および市民税課において実証実験を実施する予定である。その結果と市民ニーズ等を踏まえ、本格的な導入に向け検討したい。

問 市役所及び周辺施設においては、国内外から観光に来る方々に対して、満足してもらえような体制をしっかりと整えていくべきと考えるが、椅子の設置状況と今後の対応を聞きたい。

答 市役所本庁舎に3台、防災庁舎に3台、観光国際交流センターに2台、MOOに2台、生涯学習センターに5台、中央図書館に4台設置されている。現時点で増設の予定はないが、利用状況の推移を見ながら対応していきたい。

新創党
大越 拓也 議員

「学校を核とした地域共生社会の推進を」

問 「子どもの貧困対策に関する大綱」において、学力の保障や、高校における中退者の予防、中退後の支援など、教育支援体制の整備が求められている。学校区単位の取り組みが、総合的な貧困対策にもつながるため、コミュニティ・スクール制度を活用し、中学校区内にある高校との連携を図ることが極めて有効と考えるがどうか。

答 さまざまな校種間連携が言われる中、北海道教育委員会がキャリア教育を主とした小中高連携事業を実施していた例もあり、中高の連携の可能性は十分であると認識している。

共産党
西村 雅人 議員

「保育所等における副食費の無償化を」

問 保育所等において、保育料は令和元年10月から無償化になったものの、一人につき4500円の副食費を新たに徴収することになった。複数の子どもを育てている家庭にとっては大きな金額であることから、副食費を無償化して子育て支援に取り組みべきではないか。

答 副食費の取り扱いについては、これまでも実費徴収、または保育料の一部として保護者負担となっていたものであり、新制度においても国のこの考え方を基本としていく。

12月5日(木)

新風
栗屋 剛 議員

「民間活力でリバーサイド整備を」

問 釧路観光コンベンション協会が公表している釧路川リバーサイド観光拠点構想に運動させ、MOOの対岸側河口に、クラウドファンディングも含めた民間活力で、道々の駅(仮称)、オートキャンプ場、ライダーハウス、グルメブース、マルシェなどを作ってはどうか。

答 市としては、これまで釧路駅から北大通、そしてリバーサイドエリアの賑わいの創出を大きな柱として、さまざまな意見を頂きながら施策を展開してきており、多くの方の思いは共通していると認識している。

公明党
河合 初恵 議員

「SDGsの視点からノーレジ袋とマイバッグの推進を」

問 外国人観光客が、提供されたレジ袋を「ノープラスチック」と断った事例を聞いた。SDGsの目標「つくる責任 つかう責任」と「海の豊かさを守ろう」の達成に向けた海洋プラスチックごみ対策や、持続可能な観光施策にもつながることから、ノーレジ袋とマイバッグの推進を図るべきではないか。

答 マイクロプラスチックによる海洋汚染などから、レジ袋削減の意識が高まる中、各企業の動向も注視しながら、引き続き、レジ袋削減、マイバッグ持参の普及啓発に努めていきたい。

自政党
三木 均 議員

「臨港線跡地を散策路に」

問 太平洋石炭販売輸送臨港線の跡地は、わずか4キロの短い路線だが、春採湖畔や千代ノ浦、知人の海岸風景、石炭棧橋など釧路ならではの原風景といってもいい眺望であることから、散策路として整備し、観光資源や市民の健康増進、憩いの場として活用してはどうか。

答 臨港線跡地については、現時点で市としての計画はないが、釧路臨港鉄道の会や市民グループ等からの意見を踏まえ、庁内関係部署で情報の共有を図り、協議をしていきたい。

市民連合
宮田 団 議員

「プラスチックごみ削減に向けた取り組みを」

問 マイクロプラスチックによる海洋汚染、健康被害が世界的に問題となっている。市はプラスチックごみ削減にどのような取り組みでいくのか。

答 市ではペットボトルやプラスチック製容器包装などを資源物として無料で収集していることから、プラスチック類の回収率は高いと考えており、今後も事業者や消費者に対し周知を行い、回収率の向上に努めたい。また、プラスチックごみの現状や環境への影響についても、継続して周知を行っていきたい。

共産党
工藤 正志 議員

「食品ロス削減に向けた具体的な取り組みは」

問 令和元年10月から「食品ロス削減推進法」が施行されたが、市では今後、どのようなことに具体的に取り組んでいこうと考えているのか。

答 食品ロス削減の推進に関する基本方針が、国の「食品ロス削減推進会議」において、年度内には示される予定である。その基本方針に沿い、北海道が策定する計画も踏まえた上で、他市の事例も参考にしながら庁内の関係部署と連携し、具体的な取り組みや市としての計画の策定について検討していきたい。

新風
森 豊 議員

「今後の副港地区の整備について」

問 市場関係者等と協議している、より安全・安心な水産物の生産体制の確立に向けて、仮称第8魚揚場の新設を強く要望するところだが、今後の副港地区の整備について見解を聞きたい。

答 現在、第7魚揚場の改修の在り方や、水産物の安定供給、消費者ニーズに対応した安全・安心な水産物の供給の観点から、衛生管理に配慮した施設整備について、市場関係者と検討を行っている。引き続き、水揚状況や改修コストなどを勘案しながら協議を進めたい。

用語解説

- ※1 **クラウドファンディング**
クラウド(Crowd:群衆)とファンディング(Funding:資金調達)を組み合わせた造語。特定の目的に必要な資金を、インターネットを通じて不特定多数の投資家から集める資金調達方法のこと。種類として、「寄付型」「購入型」「投資型」「融資型」がある。
- ※2 **SDGs(エスディー・ジーズ)**
平成27年の国連サミットで採択された、30(令和12)年までに達成すべき持続可能な開発目標。「貧困の撲滅」や「海の豊かさを守る」など17項目がある。

今回より、質問者名の下にQRコードを掲載しています。スマートフォン等により、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。

委員会審査

3 常任委・2 特別委

3常任委員会と2特別委員会の審査を行いました。その中から主な審査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

松尾 和仁 委員長

将来推計人口

「維持へ大胆な取り組みを」

「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略の2期目となる今後5年間は、将来の人口減少をどれだけ緩やかにすることができかが問われる極めて重要な期間と考えているが、出生数の維持に向け、例えば第3子以降への手厚い施策など大胆な対応が必要ではないか。」との質問がありました。

市長は、「人口減少社会を迎えるにあたり、出生数の目標達成のために、子育て世帯への対策だけではなく、これから結婚や子育てを行う若い世代の所得確保をはじめ、地域経済の活性化に取り組んでいきたい。」と答えました。

経済建設常任委員会

大澤 恵介 委員長

音別におけるグランピング

「音別の特色を出して他と差別化を」

音別でのグランピングについて、現地を視察したアウトドア事業者からは、音別には魅力があると評価されたとのことだが、グランピングは全国で流行しているため、他と差別化を図る必要があると考えるが、事業化に向けては音別の特色を出すことを考えているのか。」との質問がありました。

理事者は、「現地を視察した事業者からは、年中タンチョウを見ることのできることや、キナシベツ湿原といった釧路湿原とは違った身近な湿原があるという環境が好評であった。事業化に向けては、それらを十分に生かして、音別の住民の方々とも協議しながら進めていきたい。」と答えました。

民生福祉常任委員会

伊東 尚悟 委員長

市立釧路総合病院

「新棟建設の進捗状況は」

「市立釧路総合病院の新棟建設について、今年度内に院内の意見集約を行い、一定の方向性をまとめる予定であるとのことであるが、集約結果の公表や、基本設計の発注時期についてはどのように考えているのか。」との質問がありました。

理事者は、「現在、院内各部門との協議を進めているところであり、スケジュールを含めた事業の方向性などについては年度内に示したいと考えている。設計業務についても、全体の調整を行っているところであり、今後、技術的な内容について協議を重ね、年度内にしつかり整理をしていきたい。」と答えました。

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会

月田 光明 委員長

新たな採炭方式への切り替え

「発電所への十分な石炭供給量確保は」

来年11月に稼働予定である釧路火力発電所への石炭供給を見据え、大量生産型のSD採炭方式から、より効率的なルーム採炭方式への切り替えが進められているが、新たな方式の導入により、火力発電所への十分な供給量を確保できるのか。」との質問がありました。

理事者は、「現在、新たな採炭方式への切り替えのため、その準備坑道を掘りながら採炭を行っているため、半分程度の設備規模で作業を行っているが、その採炭量から判断して、フル稼働となった際には発電所が必要とする量は十分確保できるものと認識しており、火発稼働後の安定供給については問題がないと理解している。」と答えました。

都心部市街地整備特別委員会

草島 守之 委員長

歩いて楽しめるまちづくりの検討

「防災を含むまちづくりとの整合性は」

「滞留人口が多い釧路駅・中央図書館・釧路川沿岸の3拠点の一体性を高めるため、北大通等を軸として歩いて楽しめるまちの形成が協議会で検討されているが、防災を含むまちづくりの視点からは、より迅速に避難をするため、車両が鉄道を通りやすい仕組みが求められており、市の見解を聞きたい。」との質問がありました。

理事者は、「鉄道高架化と複数の交差道路の配置等により、都心部の通過交通の分散化や円滑化を図ることで、歩いて楽しめる道路空間の確保と共により、防災にも資する道路網整備を検討していきたい。」と答えました。

本会議

質疑・一般質問

12月4日(水)～6日(金)

●12月6日(金)



公明党
月田 光明 議員

「市役所業務にRPAの導入を」

問 市役所業務においては、今後、慢性的なマンパワー不足が、より深刻になるのは明らかであることから、RPAを早期に導入し、自動化、効率化を図るべきではないか。

答 本年1月からワーキンググループを設置し、2月からデモンストラレーションを実施して、導入効果の認識を深めてきた。釧路市においても効果などを図るため、法人市民税電子申告審査業務での検証実験を来年2月に行えるよう、調整を進めており、その結果を踏まえ、導入できる業務を検討したい。



自公党
続木 敏博 議員

「釧路空港の駐車場拡張について」

問 北海道内7空港の民間委託に関し、釧路空港において、旅客数を増やしていくためには、路線便数はもちろんだが、同時に駐車場の容量も重要かつ喫緊の課題である。駐車場の拡張時期と規模はどのようになるのか。

答 駐車場の台数の確保については、来年の運営開始から1年以内に、平面で約300台分を新たに確保すると聞いている。確保の手法については、現在の駐車場内や周辺スペースを活用する計画であると聞いている。



共産党
村上 和繁 議員

「早期の津波避難タワーの建設を」

問 津波避難困難地域に指定されている大楽毛南地区と、海岸線に近く、高齢者が多く住む音別町海光地域への津波避難タワー建設を決断すべきではないか。

答 内閣府から予想津波高の見直しが発表されることが、その後の津波対策のベースになる。この見直しが発表された際に速やかに対策を進めることができるよう、他自治体の津波避難タワーの状況も確認しており、引き続き住民の命を守るという観点で検討していきたい。



自公党
草島 守之 議員

「音別町認知症高齢者グループホームについて」

問 音別町認知症高齢者グループホームの指定管理者の応募が無く、令和2年3月をもって運営困難となる見通しとなったことは大変残念である。これに至った原因と今後の対応について聞きたい。

答 応募がなかった原因については、音別地区に限らず、全国的に介護福祉施設の人手不足の中、従事者の確保が困難なためと考えられる。興味を示した事業者もいたことから、引き続き接触を続けるなど、1日も早い再開に向けて努力していきたい。



共産党
梅津 則行 議員

「パワーハラスメントを訴えた当事者に謝罪を」

問 市内の学校に在職中、上司からパワーハラスメントを受けたとする訴えに対し、市教委はパワーハラスメントには該当しないと判断した。しかし、上司は人格を否定する発言をしており、それを受けた当事者に謝罪すべきではないか。

答 当該職員から提出された会話記録等に基づき調査を行い、北海道教育委員会にも参考意見を求めた上で、総合的に判断した結果と受けとめている。当時の判断を再度精査することは不可能だが、その際、行き過ぎた発言があったとしたら、大変申し訳なく思う。

用語解説

- ※3 RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)
パソコン操作をソフトウェアに記録させることで、主に定型業務を自動化する仕組み。作業時間の削減や人的ミスの防止、人手不足の解消など、さまざまな課題解決に効果的と言われている。
- ※4 グランピング
グラマラス(魅惑的な)とキャンピングを掛け合わせた造語で、豪華なテントやロッジに宿泊して、ホテル並みのサービスを受けながら、自然の中で快適に過ごすキャンプのこと。

森林を見る会に参加

10月28日(月)、釧路地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会主催の第18回「森林を見る会」が浜中町で開催され、当市議会からは12名の議員が参加し、湯沸山植樹祭会場、湯沸共生林遊歩道、アゼチの岬を視察し、浜中総合文化センターにおいて交流会を行いました。



▲湯沸山植樹祭会場

観光交流都市親善訪問

11月4日(月)から6日(水)の日程で松永征明議長、草島守之議員、村上和繁議員の3名が、観光交流都市である岡山市を友好親善交流訪問団の一員として公式訪問し、友好の絆と相互理解を深めました。

市議会インターネット中継をご利用ください

市議会ホームページでは、本会議の様をインターネット中継しています。過去(平成31年以降)の議会の様子も録画中継でご覧いただけます。



令和元年第6回12月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決となったもの(27件)

市長提出議案		議員提出議案		
予算	令和元年度 一般会計補正予算(議案第125号)	条例	高齢者生きがい交流プラザ条例の一部を改正する条例	
	令和元年度 国民健康保険特別会計補正予算		共栄ふれあいセンター条例	
	令和元年度 国民健康保険阿寒診療所事業特別会計補正予算		農業用簡易水道事業の設置等に関する条例	
	令和元年度 介護保険特別会計補正予算		港湾施設管理条例及び基金条例の一部を改正する条例	
	令和元年度 駐車場事業特別会計補正予算		丹頂鶴自然公園条例の一部を改正する条例	
	令和元年度 動物園事業特別会計補正予算		富士見球場条例を廃止する条例	
	令和元年度 病院事業会計補正予算		その他	釧路広域連合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更に 関する協議の件
	令和元年度 水道事業会計補正予算			釧路河畔駐車場及び釧路錦町駐車場の指定管理者の指定の件
	令和元年度 一般会計補正予算(議案第147号)			釧路市民活動センターの指定管理者の指定の件
令和元年度 一般会計補正予算(議案第147号)	インフォメーションセンター丹頂の里等の指定管理者の指定の件			
条例	印鑑条例の一部を改正する条例	丹頂鶴自然公園の指定管理者の指定の件		
	行政不服審査条例及び固定資産評価審査委員会条例の一部を改正 する条例			
	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例			
意見書	議員提出議案			
	「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書(提出先:内閣総理大臣、国家公安委員会委員長)			
	スマート農業の実現による競争力強化の加速を求める意見書(提出先:内閣総理大臣、農林水産大臣)			
	豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書(提出先:内閣総理大臣、農林水産大臣)			
	厚生労働省が再編統合するとして公立・公的病院名の公表を撤回するよう求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか3大臣)			

◎ 賛否が分かれたもの(1件)

件名	会派名[()内は議員数]*	議員提出議案						審議結果
		自政ク(8)	市民連合(6)	公明党(5)	共産党(4)	新風(2)	新創ク(2)	
意見書	日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書	×	○	×	○	×	×	否決

◎ 請願・陳情(1件)

件名	会派名[()内は議員数]*	議員提出議案						審議結果
		自政ク(8)	市民連合(6)	公明党(5)	共産党(4)	新風(2)	新創ク(2)	
陳情	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の件	×	○	×	○	×	×	不採択

* 自政クの議員数は9人ですが、松永議長が採決に加わっていないため8人としています。

市議会を傍聴してみませんか?

まちづくりがどのように進められているのを知るために、市議会を傍聴してみませんか。どなたでも傍聴できますので、個人はもとより各種団体・サークルなどでぜひお越しください。

本会議の傍聴

本会議は、市役所本庁舎2階の本会議場で開催しています。傍聴席入口前の受付で、住所・氏名を記入することで、自由に本会議を傍聴できますので、お気軽にお越しください。団体やサークルなどで傍聴される場合は、座席数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。階段を上ることが困難な方、または車いすをご利用の方は、エレベーターでご案内しますので、総合案内へお越しください。また、議場にはエレベーターを設置しておりますので、車いすのまま傍聴席への入場が可能です。(議会事務局 ☎31-4581【直通】)

